

## 四月は好きですか

北野小学校長 丹羽 郁人

四月は好きですか。  
私は好きです。

緊張と、鼓動の高鳴りと共に始まるこの月。  
私は必ず、ある句を思い浮かべます。

「春風や 鬨志いだきて 丘に立つ」  
高浜虚子の俳句です。  
北野の春風は、きつとあたたかくて、  
背中をそつと押ししてくれるに違いありません。

四月は好きですか。  
私は好きです。  
新たななる出会いに、胸が高鳴ります。



「春」という谷川俊太郎の詩があります。中学校一年生の国語の教科書に載っています。その詩には、春という季節での、言葉でうまく説明できない、沸き立つ思いが書かれています。学校の正門、西門、そして東門の桜の木。昨日も満開でした。時折吹く北風に花びらは揺れますが、多くは枝にしっかりとしがみついています。入学式にあわせて「桜」は咲きます。この時期に合わせ、咲いてくれます。厳しい冬の間も、人知れず準備をしてきたんですね。

入学式までは散るまいという意地なのかもしれません。雨や風に負けてはならないときがあることを教えてくれているのかもしれない。

桜の咲き誇る中の一期一会。子供たちとの出会いです。  
私たちは出会います。忘れられない出会いになることを信じて疑いません。

四月は好きですか。  
子供たちと出会える四月は、大好きです。